

宇治から広がる思いやりの心

人と人がつながり、世界が動き出す



東條 茉生 (とうじょう まお)
京都府立東宇治高等学校 2年

宇治から広がる思いやりの心

人と人がつながり、世界が動き出す

東條 茉生



伏見稲荷にてアンケート調査

活動概要

活動の内容

- 7/26・8/1 木津川・箱石浜海岸/清掃・ごみ比較調査
- 8/3～9/28 住民・観光客/聞き取り・マナー標識調査・アンケート実施
- 8/2 京都市環境保全活動センター/環境問題について質問
- 8/22 宇治市商工会議所/協力依頼(協力は難しかったがアドバイスをいただく)
- 9/28 京都女子大学/高札について質問
- 10/1 宇治市役所/調査報告書提出 宇治市社会福祉協議会/意見交換 OMOIYARI JAPAN/設立
- 10/17 地域団体/宇治川清掃・活動報告
- 10/25 わんさかフェスタ/マナーカード配布 日韓環境教育シンポジウム/参加・意見交換
- 12/14 FUN×FAN×FES/活動報告

活動の特徴(新規性・発展性)

宇治には、宇治川の鵜飼や平等院など、自然や文化を感じられる観光地が多く、人の暮らしと観光が共存する街です。しかし近年、観光客の増加に伴い、ごみの放置やマナーをめぐるトラブルが目立つようになりました。私はこの課題に対し、思いやりを軸にしたボランティア団体を設立しました。人の行動や意識を調査し、その結果をもとに行政や地域と連携して、環境・共生の課題に新しいアプローチで解決へ取り組んだ点が特徴です。

活動の成果

活動を通して、地域の人々や訪日外国人の意識にも変化が生まれました。例えば、「海のごみ問題を家族に伝える」「日本のマナーを国の友人に教えたい」など、前向きな声が聞かれるようになりました。宇治市からは調査報告書を「貴重な資料として活用したい」と評価していただき、宇治市社会福祉協議会からは正式な団体として承認されました。今後は商店街と協働し、マナー啓発に取り組むための意見交換を進めていく予定です。

課題の設定と意図

私は観光地における環境と共生の課題を取り上げました。近年、多くの観光地では観光公害が問題となっています。実際に現地を訪れると、道路に人があふれ、立入禁止区域への侵入や、いたる所に散乱するごみなど、地域の生活や自然環境が大きく損なわれている現状に驚きました。このごみの散乱を見たとき、小学生の頃にビーチコーミングをした際に海岸で見たごみの山を思い出しました。この経験から、観光の課題は共生の問題だけでなく、環境とも深く結びついていることに気づきました。私の住む宇治市でも、抹茶ブームの影響で訪れる人がさらに増え、2024年の観光客数は前年比125%の約615万人と過去最高になりました。それに伴い、私たちの生活環境にも変化が現れ始めています。観光は豊かな体験をもたらす一方で、ごみやマナーの問題など、地域に大きな負担をかけることがあります。しかし、観光客が思いやりを持って行動することで、地域を守る力に変わると気づきました。こうした気づきから、私は環境と共生の問題は人の意識によって変えることができると考えるようになりました。そして、この課題を選んだ理由は、魅力ある宇治を未来へつなげたいと願ったからです。

課題解決のための仮説と計画

マナー違反とされる行動の多くは、文化や習慣の違いから生まれると考えました。日本では、家の中では靴を脱ぐことが一般的ですが、海外では履いたまま過ごすのが自然で、道に座ることもリラックスとして受け取られます。これは育った環境によって「内と外」の感じ方が異なることが原因だと言われています。こうした点から、観光地で起こる課題の多くは、人の無意識の行動によって発生していると考えました。そこで、環境と共生の問題は自分ごととして捉え、互いを理解し合う意識を育てることで解決できるのではないかと仮説を立てました。

この仮説を確かめるために、まずは無意識から引き起こされる行動の現状、意識が生まれる背景、そして意識を育てる仕組みづくりの三つの視点から調査と計画を行いました。

①行動調査

当初は宇治川での実施を計画していましたが、安全面を考慮し、隣接する木津川に変更しました。木津川と、海外からの漂着ごみが見られる箱石浜海岸で清掃活動とごみの比較調査を行いました。街で出た生活ごみが川を通じて海へ流れ、最終的に海外の環境にも影響を与えている現状を明らかにしようとした。

②意識調査

京都市東山区と宇治市の地域住民への聞き取り調査を行い、平等院・清水寺・伏見稲荷大社・関西国際空港で訪日外国人200名にマナー啓発とアンケートを実施する計画を立てました。これは、各国のマナーに対する考え方のデータを収集し、日本人との行動や意識の違いを明確にすることで、相手の立場を理解するための視点を見つけることを目的としました。

③仕組みづくり

環境と共生の課題を解決するためには、人の意識の変化が必要です。そのために、「相手に伝わる仕組み」と「継続する仕組み」そして「教育の力」を整える計画を立てました。これらの意識を育てる仕組みをつくることで、行動が変わり、互いに理解し合える社会を実現できるのではないかと考えました。



箱石浜海岸にて清掃活動



わんさかフェスタにて思いやりカード配布

活動で工夫できたこと

「伝え方・継続・教育」の仕組みをつくるために、OR合宿で学んだ「行動することで人と人をつなぐ」「楽しさが継続を生む」という考えを軸に、伝え方・デザイン・対話の三つの面から工夫を重ねました。

①伝え方

マナー啓発では、「Let's」を使い、「ごみを持ち帰ろう。そうすれば、あなたはいつでも美しい日本を体験できます。」のように、禁止ではなく、行動したくなる前向きな言葉を意識しました。また、自分ごととして捉えられるように語り方を工夫しました。

②デザイン

WEBサイトでは、ごみ箱マップやマナー表示にピクトグラムを使用し、誰にでも直感的に伝わるデザインにしました。多言語化することで海外の人も利用できる仕組みを整えました。

また、日本文化の魅力を感じる錦絵のデザインを用いた「おもいやりカード」を制作し、QRコードでサイトやSNSへアクセスできるようにしました。リアルとデジタルの両面から発信し、行動につながる導線を複数つくった点に工夫があります。

③対話

清掃活動では、ごみを拾うだけでなく、マイクロプラスチックが生活に及ぼす影響を説明し、自分の生活ともつながっていると感じてもらえるようにしました。

イベントでは、遊びの要素を取り入れ、楽しみながら環境問題を学ぶことにより、行動を続けるきっかけになるように工夫をしました。アンケートでは、回答を集めるだけでなく、対話を通して相手の国の文化やマナーを聞き、言葉が通じない相手にはジェスチャーを使うなど、理解を深める工夫をしました。

当初、ごみ問題の解決には、ごみ箱を増やすことが重要と考えていましたが、「海外は日本よりごみ箱は多いのに街が汚い」「ごみ箱が少ないことが街をきれいに行っている」と多くの回答をいただき、想定と逆の結果になりました。その意外な発見から、行動を変えるのは「物」ではなく「仕組み」と「意識」だと気づきました。



日韓環境教育シンポジウムにて

活動で得た学び・気づき

今回の活動を通して「行動は思いやりと伝え方が変わる」ということを実感しました。以下では活動を通して考えたこと、得た学びと力をまとめます。

①考動力(考え動く)

木津川と箱石浜海岸でごみの比較調査を行ったところ、川は生活ごみ、海は漂着した海外の生活ごみと漁業ごみが多く、ペットボトルの約8割が海外製でした。人の行動が国境を越えて環境に影響していることを実感しました。OR合宿では、見えないところで生き物に影響を与えるマイクロプラスチックの問題を学び、自分の行動が環境や自分自身にも返ってくることを伝える必要性を感じました。

住民への聞き取り調査では「英語が話せない」「伝え方が分からない」といった声が上がりました。訪日外国人のアンケートでも「マナーは守りたいが、知らないルールが多い」という回答が目立ち、生活マナーの認知度は「電車内で通話しない」が約7割、「道に座らない」は5割以下にとどまりました。この結果から、マナー問題は悪意ではなく「知らない」ことから生まれていると分かりました。そのため、文化やルールの違いを無理なく伝え合える仕組みが必要だと感じました。

②共感力

マナーを伝える際、理由を添えて話すと、驚いた後に「Thank you for telling me.」と笑顔で返してくれました。思いが届く瞬間を実感し、気づきは積極的に話しかけられるようになりました。英会話の上達を感じられたのも、思いがけない嬉しい成果でした。

清掃活動の後には、拾ったごみをアクセサリに変えるイベントを行い、楽しみながら環境を考える取り組みにも挑戦しました。子どもたちが「ごみが宝物になった」と話してくれたことが印象に残っています。思いやりや楽しさは言葉を超えて伝わり、共感が新しい行動を生む力になることを学びました。

③共創力

活動に共感した友人と、ボランティア団体「OMOIYARI JAPAN」を立ち上げました。

宇治市社会福祉協議会や宇治ボランティア活動センターと協力し、宇治川の清掃活動にも取り組みました。

宇治市のイベント「わんさかフェスタ」では「おもいやりカード」を約400枚配布し、地域の方々や観光客と交流しました。「素敵な活動だね」と声をかけてくれる人や「一緒に取り組みたい」と申し出てくれる団体も現れ、思いが共感を生む連鎖を実感しました。

京都市環境保全活動センター主催の日韓環境教育シンポジウムに参加し、韓国「地域全体で環境教育を支える仕組み」について学びました。私は、日本の「思いやり」を軸とした意識の変化の取り組みを紹介し、「韓国でも広めたい」「私も仲間になりたい」と言ってもらえました。韓国の方や京都市環境保全活動センターの皆さんから「一緒に活動を広げていこう」と声をかけてもらい、国際と地域の両面で新しいつながりが生まれました。

仲間や地域と共に考え、行動することで、思いが広がり、つながりや変化を生み出せることを学びました。

今後の展望・新たな取り組み

日本の「思いやりの心」を世界に広げたいという思いから「OMOIYARI JAPAN」の活動を始めました。今回の探究で終わらせるのではなく、地域とともに継続して歩んでいくために、さまざまな取り組みを進めています。

①環境の新しい取り組み

地域団体と協働し「季節を感じる歴史散策型クリーンウォーク」を計画しています。宇治川や街並みを歩きながら清掃するだけでなく、季節の草花や歴史を教えてくださる方と一緒に巡ります。自然や文化の背景を学びながら地域をきれいにすることで、宇治を「知る・感じる・守る」循環を生み出し、新しい環境教育の形として育てていきたいと考えています。

②観光と共生の広がり

互いを理解し合う観光を目指し実践してきました。今後は、宇治市社会福祉協議会から紹介していただいた商店街と連携し、「協力店ステッカー」を提示する取り組みを進めます。店先にステッカーがあることで、共生の姿勢が視覚的に伝わり、広がっていくと考えています。また、旅行会社とも協働し、来日前から日本の文化やマナーを知ってもらうための仕組みづくりにも挑戦したいと思っています。観光客と地域の方が自然に交流し、互いを理解し合える環境を、宇治から発信していきます。

③国際的な学びの循環

日韓環境教育シンポジウムでは、韓国の学生たちが不要物をアップサイクルし、地域で役立てている取り組みを知りました。また、京都市環境保全活動センターから、不要になった物を必要とする人につなぐ「¥0マーケット」を教えていただきました。これらの学びを学校でも生かしたいと考え、不要になった服などを集めて再活用する活動を計画しています。さらに、韓国の学生とオンラインで交流しながら、リユースの方法を学び、学校での実践や地域との交流につなげていきたいです。

④発表の場

学校外で始めた活動だったため、活動報告を清掃活動後に地域団体の方に発表していましたが、同世代に伝える場がなく悩んでいた時、宇治市が主催する高校生文化芸術祭「FUN×FAN×FES」の開催を知り、思い切って問い合わせました。締め切り後にも関わらず、担当の方が協議してくださり、発表の機会をいただくことができました。この経験を通して、学校・地域・海外をつなぐ取り組みをさらに広げていきたいと感じました。

◎思いやりを広げる未来へ

一人でごみ拾いを始めた小さな行動は、悩みながら続けるうちに仲間が増え、やがて「OMOIYARI JAPAN」の設立につながりました。活動の広がりを通して、社会を変えるのは仕組みだけではなく、一人ひとりの意識が大切だと確信しました。思いやりの心が広がれば、未来はもっと明るくなるはずです。私はこれからも、人と人をつなぐ架け橋として、「思いやり」を地域から世界へ届け、次の世代へ広げていきたいと考えています。

実践活動時の動画や成果物等

動画URL	二次元コード	添付PDF あり
https://omoiyarijapan.my.canva.site/		
https://www.instagram.com/omoiyarijapan?igsh=YWNraGN6ZmhkbXJo&utm_source=qr		

1. 地域探究アワードエントリー情報

エントリー希望	有	エントリー単位	個人	ブロック	中部
---------	---	---------	----	------	----

2. オリエンテーション合宿及び実践活動の基本情報

合宿実施先	国立若狭湾青少年自然の家	修了日	2025/8/20	カリキュラムのタイプ	B
フィールドワークの内容					
実践活動期間	2025/8/23 ~ 2025/11/30				
活動のタイプ	新たな活動				
共同実施者	無				
協力者	主な協力者			協力内容	
	所属	OMOIYARI JAPAN		イベントを共に企画、相談、運営	
	氏名	坂井那羽			
	所属	宇治市社会福祉協議会		他団体紹介、地域店舗紹介、イベント紹介	
	氏名	遠藤咲和			
	所属	京都市環境保全活動センター		環境問題・環境教育について相談、他団体紹介	
氏名	谷内口友寛 谷神裕樹 広中歩				
協力者総数	25名		協力団体数	9団体	

3. 実践活動の記録

(1)総活動日数 全 54 日

事前:準備・打合せ	18日	本番:メインの活動	34日	事後:ふりかえり・報告	2日
-----------	-----	-----------	-----	-------------	----

(2)活動成果の発信等

媒体	方法	回数	概要・備考
SNS	自ら発信	3回以上	観光公害の現状やマナー啓発活動をSNSで発信。
その他	自ら発信	3回以上	観光地のゴミ箱マップやマナー表示をWebサイトで発信。
その他	自ら発信	1回	宇治市高校生文化芸術祭典FUN×FAN×FESにて活動内容を報告。

(3)主な活動記録

活動日時	区分	活動場所	活動内容
7/26 ~ 9/28	①事前学習・打合せ等	自宅	アンケート調査資料・おもいやりカード・Webサイト・SNS作成。
7/26 ~ 8/1	②実践活動本番	木津川 箱石浜海岸	7月26日木津川、8月1日箱石浜海岸にて清掃活動・ごみ調査。
8/3 ~ 9/28	②実践活動本番	平等院 清水寺 伏見稲荷 関西国際空港	訪日外国人を対象としたマナー啓発・アンケート調査。
10/19 ~ 10/25	②実践活動本番	宇治川 宇治橋商店街 京都リサーチパーク	清掃・わんさかフェスタにてマナーカード配布・日韓環境教育シンポジウムで意見交換。
12/13 ~ 12/14	③事後打合せ・報告会等	宇治市文化センター	宇治市高校生文化芸術祭典FUN×FAN×FESにて活動内容を報告。

訪日外国人にマナー問題アンケート

【調査方法】

2025年8月3日～9月28日 200人

京都市東山区・伏見区・宇治市に訪れた外国人観光客を対象に、紙の質問用紙を配布しその場で回答を得た。自由形式は多言語で回答が寄せられたため、翻訳後に Google フォームへ入力し、データを整理・集計した。

①どの国からきましたか

アメリカ フランス コロンビア ノルウェー イギリス 中国 チェコ 台湾 ハンガリー スイス イタリア チュニジア イタリア カナダ ポーランド ペルー スペイン メキシコ オランダ カザフスタン シンガポール ウクライナ 韓国 南アフリカ パプアニューギニア プエルトリコ ロシア

②日本で困ったことはありますか？

1. ごみ・分別・ごみ箱に関する不便

- ごみ箱が少なく、街中や観光地で見つけにくい。(東京・京都・箱根など)
- ごみをホテルやトイレまで持ち歩かなければならず、不便を感じる。
- 地域によって分別ルールが異なり、統一されていないため分かりにくい。
- 過剰包装が多く、ごみが出やすい。
- 他の店ではごみを受け取ってもらえない。
- ごみを自動販売機近くまで持っていかないと捨てられない。

→清潔さが保たれている一方で、利便性に課題がある。

ごみ箱が少ない＝観光客には不便(そのおかげで街が清潔)

2. 言語・表示に関する不便

- 英語表記や案内が不足している。
- 地下鉄の乗り換えやバスの利用が難しい。
- 漢字表記だけの停留所は外国人にとって理解しにくい。
- 地方に行くと日本語が必須になり、移動が困難。
- 英語で話しても通じにくく、時には冷たく対応されることもある。

→言語サポート不足は観光客の移動や安心感に影響。

言葉が通じないと不安感につながる。

3. 暮らし・文化に関する違い

- 喫煙所が少なく、場所を探すのが難しい。
- 公共交通機関や公共施設の冷房が効きすぎて寒いと感じる。
- 日本は規則が多く、観光客には少し窮屈に感じられるが秩序維持には役立っている。
- 食事制限(宗教等)がある人にとって、適切な食事を探すのは難しい。

→日本には細かい規則やマナーが多い。観光客にとっては窮屈・不便。

(そのおかげで清潔さ・秩序・安心感が保たれている)

4. 支払いに関する不便

- 現金が使えない場所や、逆に現金しか使えない場所がある。
- 駅や博物館では指定アプリや支払い方法しか使えず不便。
- 台湾などで使える Line Pay が日本で使えない場所が多い。

→ 場所により支払い手段の差がある。

5. その他の指摘

- トイレが見つげにくい。
- 座る場所が少なく、休憩に困ることがある。
- 電車の時間に厳しく、遅刻はもちろん早すぎも迷惑になることがある。

→ 観光客が少しでも快適に過ごさせるよう情報共有する必要がある。

③あなたの国と日本のマナーについて気づいたことはありますか？

1. 清潔さ・秩序

- 日本はとても清潔で、街中にごみが少ない(欧米諸国・中国・台湾・アメリカなどとの比較)。
- 日本人は秩序を守り、列に並ぶ・静かにする・他人に配慮する姿勢が強い。
- 公共交通機関は静かで、騒音が少なく落ち着いている(コロンビア・アメリカ・台湾との対比)。
- 「公共マナー、敬意、調和、静粛、平穏」という評価が多く見られる。

→ 清潔さと秩序は、日本の公共マナーを示す特徴。

2. ごみ箱・分別・リサイクル

- 日本はごみ箱が少ないが、その代わりに人々のマナーで清潔が保たれている。
- フランス・イタリア・アメリカ・ウクライナなどは街中にごみ箱が多いが、街は汚れている場合が多い。
- 台湾は駅にごみ箱があり便利。
- オランダでは、デポジット制度が導入されている。
- 日本はリサイクル意識が高く、分別も徹底されている(中国やロシアと比較)。

→ 欧米・アジアの国:ごみ箱が多い＝便利だが街は汚れやすい

日本:ごみ箱が少ない＝不便だが、持ち帰る習慣とマナーで清潔さを維持

デポジット制度はリサイクルに有効な手段だと思われる

3. 喫煙に関するマナー

- 喫煙が制限されている。(喫煙所が限られている)
- チェコ・スペイン・ロシア:路上や公共の場で自由に喫煙可能。
- イタリア:公共の場は禁煙だが、路上では喫煙できる。

→ 喫煙ルールは国ごとに大きく異なり、日本は規制が厳しい国の一つ。

4. 公共交通機関・生活習慣

- 日本の電車・バス: 静かで効率的、時間に正確。
- コロンビア: 車内での物売りや騒音が多い。
- アメリカ: 交通機関は時間通りでないことが多い。
- 日本では乗降時に押し合いがあり、子連れへの配慮不足を指摘する声もあった。
- 日本には優先席があり、弱者への配慮がされていた。
- 日本では靴を脱ぐ習慣がある。
- アメリカではほとんどの人が車で移動する。

→他国の公共交通機関に比べて日本の公共交通機関は時間秩序の面で優れている。一方で、これらは日本では当たり前とされているマナーであっても、国や文化によっては必ずしも共通認識ではない。

5. 人々の行動・文化

- 礼儀正しく親切で、他人に干渉せず自分のことに集中する。
- 周囲へ敬意を払う。
- 人を尊重する姿勢が強い。
- 外国人に対しては控えめで距離を感じることもある。
- お辞儀の文化がある。

→海外の人から見た日本人の印象は、礼儀正しく、尊敬できる人が多いといった好印象の感想が多い

6. 国ごとの特徴的なコメント

- オランダ: 容器デポジット制度がある。
- ロシア: 分別制度がなく、公共マナーの意識が低い。
- イタリア: 環境を守るためのルールが多く、制度も整っている

→国ごとに文化や習慣が異なるが良い制度は日本でも取り入れるべきだと感じた。



ノルウェー (関西国際空港)
来日観光客にアンケート



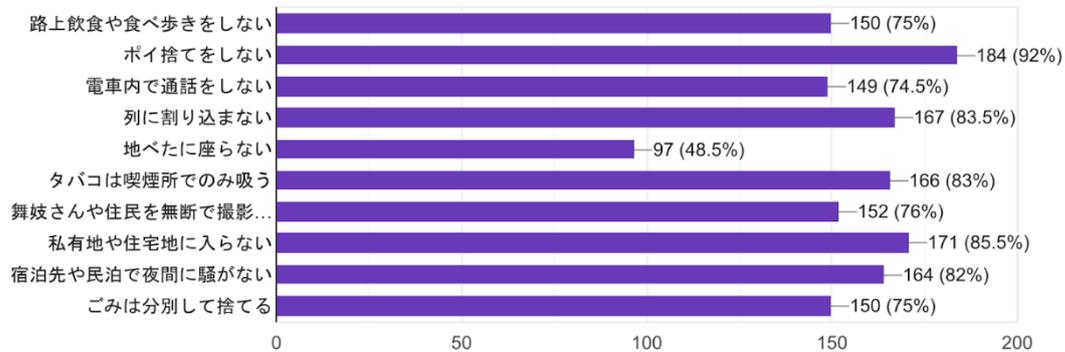
コロンビア (着物レンタル店)



イギリス (伏見稲荷大社)

日本には次のようなマナーがあります。知っていたものにチェックしてください。

200 件の回答



京都市東山区(清水・祇園エリア)・宇治市(平等院エリア)の住民の方々にアンケート

【調査方法】

2025年8月23・30日各20名

京都市東山区に居住する住民を対象に、対面式の聞き取り調査を行った。

宇治市の平等院付近に居住する住民を対象に、対面式の聞き取り調査を行った。

観光客が増えて困っていることはありますか？

1. 公共空間のマナー違反

- ・道いっぱい広がって歩き、車や通行の妨げになる。
- ・スーパー前での地べたに座り飲食、公園でのごみのポイ捨て。

→ 住民の日常生活の快適さを損なう原因

2. 環境への影響

- ・ごみのポイ捨て(タバコ・飲食ごみ)。
- ・「一人が捨てると次々と同じ場所でごみが増える」という連鎖。

→ 小さなごみの放置が、環境悪化の拡大につながる

3. 騒音

- ・夜中にスーツケースを転がす音が響く。

→ 住民の生活時間(夜中の静けさ)に影響

4. 私有地への不法侵入

- ・私有地へ勝手に入り撮影。

→ 住民の安心した暮らしを妨げる



地域住民聞き取り調査

京都市東山区(清水・祇園エリア)のマナー啓発



宇治市のマナー啓発



ごみ箱は平等院前でのみ見つけることができた

【宇治市観光客増加に伴う課題点・改善点について】

課題点

- ・外国人観光客が増加しているが、看板は多言語対応していない。
- ・外国人観光客が食べた後のごみをどこに捨てたらよいか迷う場面がある。
- ・川の危険性を多言語対応していない。日本語のみ文字中心なので外国人や子供にはわかりにくい。
- ・宇治橋通り商店街を道いっぱい広げて歩いていて危険。

改善提案→宇治市観光振興課に要望書提出

1. 多言語対応・わかりやすい案内表示

- ・景観に配慮したマナー啓発看板(例: 茶壺、和風)
- ・看板や案内板を英語・中国語など多言語対応。
- ・川の危険表示は絵やピクトグラムで、子供や外国人でも理解しやすいデザイン。

2. ごみ問題への対策

- ・ごみ分別方法を多言語で表示。迷わず捨てられるようにする。
- ・ごみ箱を増やすのではなく、Google マップなどを利用し案内。(京都市では実施)

※参考サイト http://www.bika-kyo.jp/shiritai/bika_dustbox/

京都市まちの美化推進事業団 街頭ごみ容器の設置場所

3. 観光客の歩行マナー

・商店街の通路に矢印表示。または看板を設置し通行ルールを見えるようにする。

【宇治市観光客入込客数】(昭和 58 年～令和 6 年)

※参考サイト

<https://www.city.uji.kyoto.jp/soshiki/24/85921.html> 宇治市 宇治市の観光客数について 2024 年

◎QR コードで観光客向けにマナー案内ページを案内（地域の店舗、ホテルに設置依頼）



初回版

改訂版

◎FUN×FAN×FES 高校生文化芸術祭典(2025 年 12 月 14 日宇治市文化センター)にて取り組みを展示。→地域の課題や改善のアイデアを一緒に考えてもらうきっかけを作る。

◎京都市東山区にて見つけた看板について、京都女子大学生生活デザイン研究所へメールにて質問



1. 看板を作るにはどのくらいの予算が必要ですか

・祇園町南側協議会の地区は、比較的高級なお店が並んでいる区域です。そのため火災報知器も市販のものとは違い特注となっています。高札についても檜の自然木を使用した本格的なもので、費用も 1 本につき27～30万円と高額です。

2. その予算はどのようにして捻出されていますか

・南側地区に施設がある「JRA 日本中央競馬会」場外馬券場が地域貢献で補助してもらっているのと、協議会の年間予算で賄われています。

3. 実際に設置されるまでにはどれくらいかかりますか

・時間的な質問かと思いますが、高札に関しては企画デザイン段階で2週間程度、高札製作期間は1ヶ月くらいかかります。

4. デザインを考えると特に気をつけていることは何ですか

・ピクトグラムを使用して文字に頼ることなく外国人にも理解できることと、誤解されないように文字表記を最小限にすることです。

5. 多言語対応はどのように決めておられますか

・龍谷大学国際文化学科の外国人先生に協力してもらい留学生にも参加して頂いています。

6. 設置したあと、反応や効果はどのように確認されていますか

・現地での啓発活動を通じて、インバウンドの反応にも確認しています。

マナーを守ってもらっているか、迷惑行為が減少しているか……高札やリーフレットなどの媒体だけでは不十分なこともあります。最終的には人的な注意喚起が一番効力を発揮しますが、費用的なことを考えるとそうともいきません。

観光客はその時だけですが、住民にとっては毎日のことなので地道に訴えていくしかないのが現状です。

上記回答いただく。

OMOIYARI
JAPAN

I am a second-year high school student currently studying environmental issues, and I would be most grateful if you could kindly take a moment to answer this short questionnaire: We truly appreciate having more visitors in our community, but sometimes problems like littering, not sorting rubbish properly, or accidentally stepping into private property can affect the local environment and the everyday lives of residents.

私は高校2年生で、環境問題について勉強しています。観光で訪れる方が増えることはとても嬉しい一方で、ゴミの分別やポイ捨ての問題、また私有地に入ってしまう行為などによって地域の環境や暮らしに影響が出てしまい、住民の方々が困っている場面もあります。

① Which country are you visiting from? (どちらの国から来ましたか?)

② Have you ever experienced any inconveniences in Japan?

For example, it can sometimes be difficult to find a rubbish bin.

(日本で困ったことはありますか? 例えばゴミ箱が見つからないなど)

Yes No

If yes, I would be grateful if you could briefly describe them.

(もしあればどのようなことですか?)

③ Have you noticed any differences between manners in your country and in Japan, such as everyday behaviour, public etiquette, or how rubbish is handled?

(あなたの国と日本のマナーの違いに気づいたことはありますか? 例えば日常のふるまいや公共でのマナー、またはゴミの扱い方などについて教えてください。)

④ In Japan, there are the following manners.
please check the ones you were already aware of.

日本には次のようなマナーがあります。
知っていたものにチェックしてください。

- Do not eat or drink on the street or while walking.
- Do not litter.
- Do not make phone calls on trains.
- Do not cut in line.
- Do not sit on the ground in public places.
- Smoke only in designated smoking areas.
- Do not take photos of maiko or local residents without permission.
- Do not enter private property or residential areas.
- Avoid making noise at night in hotels or guesthouses.
- Separate your rubbish before disposal.

- 路上飲食や食べ歩きをしない
- ポイ捨てをしない
- 電車内で通話をしない
- 列に割り込まない
- 地べたに座らない
- タバコは喫煙所でのみ吸う
- 舞妓さんや住民を無断で撮影しない
- 私有地や住宅地に入らない
- 宿泊先や民泊で夜間に騒がない
- ゴミは分別して捨てる

When visitors are aware of these manners, tourism becomes more fulfilling, and both Japanese people and tourists can enjoy their time together.
Thank you very much for taking part in this survey

マナーを知ってもらえると、観光もより豊かになり、日本人も観光客も一緒に楽しい時間を過ごせます。アンケートにご協力いただきありがとうございました。



@MOIYARIJAPAN

木津川

項目名	(個)	(g)
花火の燃えかす	56	51
アルミの飲料缶	27	136
硬質プラスチックの破片	19	1156
陶器	14	152
ガラス	7	61
ビンのふた、キャップ、プルタブ	5	5
お菓子の袋 プラスチック	5	6
飲料用ペットボトル<1L	4	186
スーパーの袋 プラスチック	4	4
たばこ 空箱	3	7
軍手	3	31
竹	1	3125
靴	3	596
洗剤のボトル<1L	2	162
たばこ 吸殻、フィルター	1	3
針金	1	1
洗濯ばさみ	1	2
ゴルフボール	1	40
車のライト	1	295
ストロー	1	1
金網	1	420
合計	159	6440

都道府県名 京都府 市町村名 八幡市

調査地点 木津川 総面積 : 3.354.23m²

日時 2025年7月26日午前5時30分～午前6時30分

天候 晴れ

回収作業人数 3人

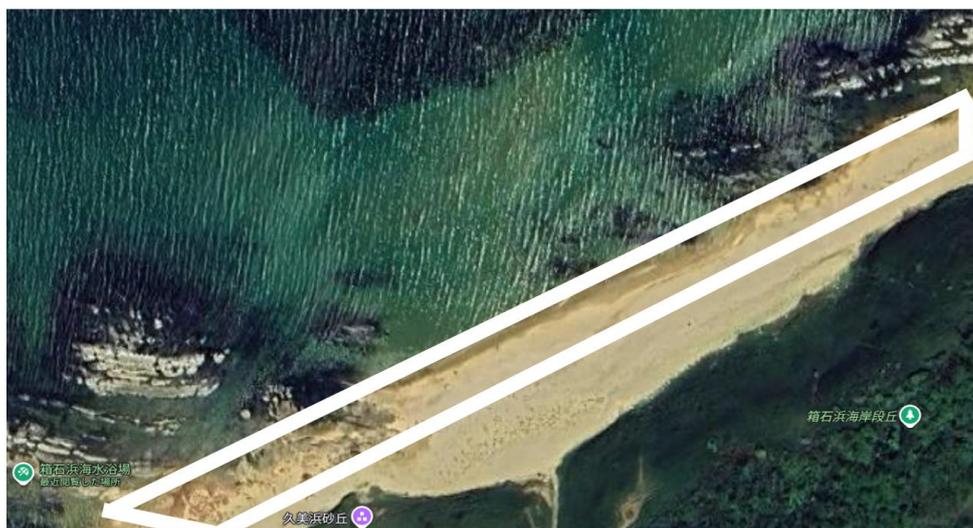


【地図1】木津川 <https://maps.app.goo.gl/aVe7RZ4hkHEPHuwq7>

箱石浜海岸

項目名	(個)	(g)
ボトル 飲料用ペットボトル>1	148	1485
ビンのふた、キャップ、プルタブ	87	2963
漁業用うき	83	13
ボトル 飲料用ペットボトル<1L	27	24025
硬質プラスチックの食器	18	153
ビン>1L	13	1682
ライター	13	332
洗剤のボトル<1L	9	1318
竹 棒<1M	9	3638
プラスチックのカゴ	8	163
おもちゃ	8	21
ビニール袋	5	5
靴	5	6994
お菓子の袋 プラスチック	4	78
アルミの飲料缶	3	262
プラスチックバケツ	2	109886
蛍光灯	1	1826
ドラム缶	1	2652
合計	444	157496

都道府県名 京都府 市町村名 京丹後市
 調査地点 箱石浜海岸 総面積：3.268.50m²
 日時 2025年8月1日午前5時30分～午前6時30分
 天候 晴れ
 回収作業人数 3人

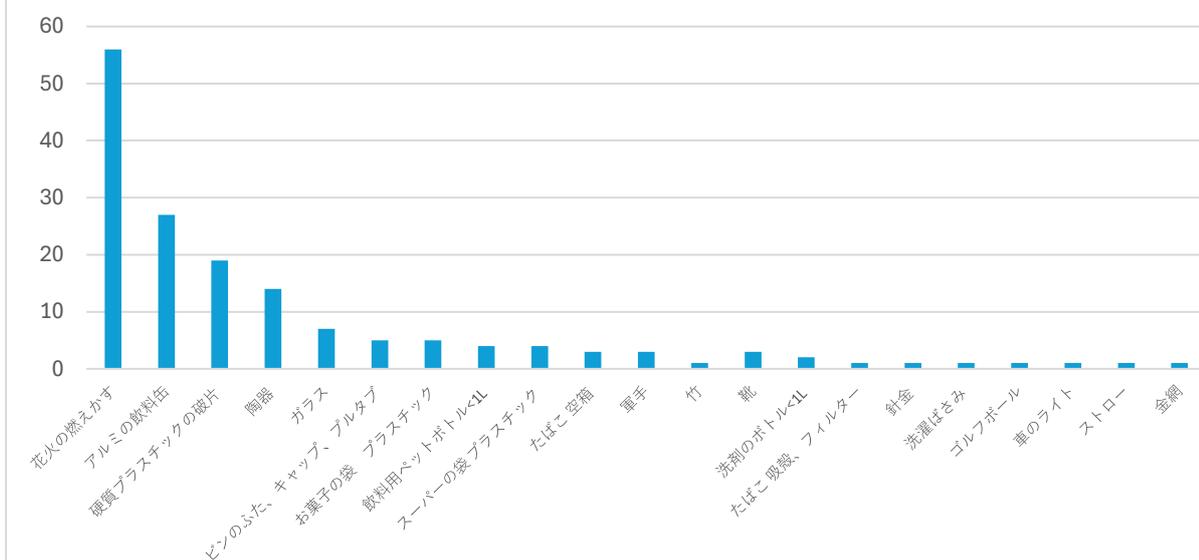


【地図2】 箱石浜海岸 <https://maps.app.goo.gl/vASaz4AvtRxytw8R6>

木津川ごみ 数量

項目名	(個数)
花火の燃えかす	56
アルミの飲料缶	27
硬質プラスチックの破片	19
陶器	14
ガラス	7
ビンのふた、キャップ、プルタブ	5
お菓子の袋 プラスチック	5
飲料用ペットボトル<1L	4
スーパーの袋 プラスチック	4
たばこ 空箱	3
軍手	3
竹	1
靴	3
洗剤のボトル<1L	2
たばこ 吸殻、フィルター	1
針金	1
洗濯ばさみ	1
ゴルフボール	1
車のライト	1
ストロー	1
金網	1
合計	159

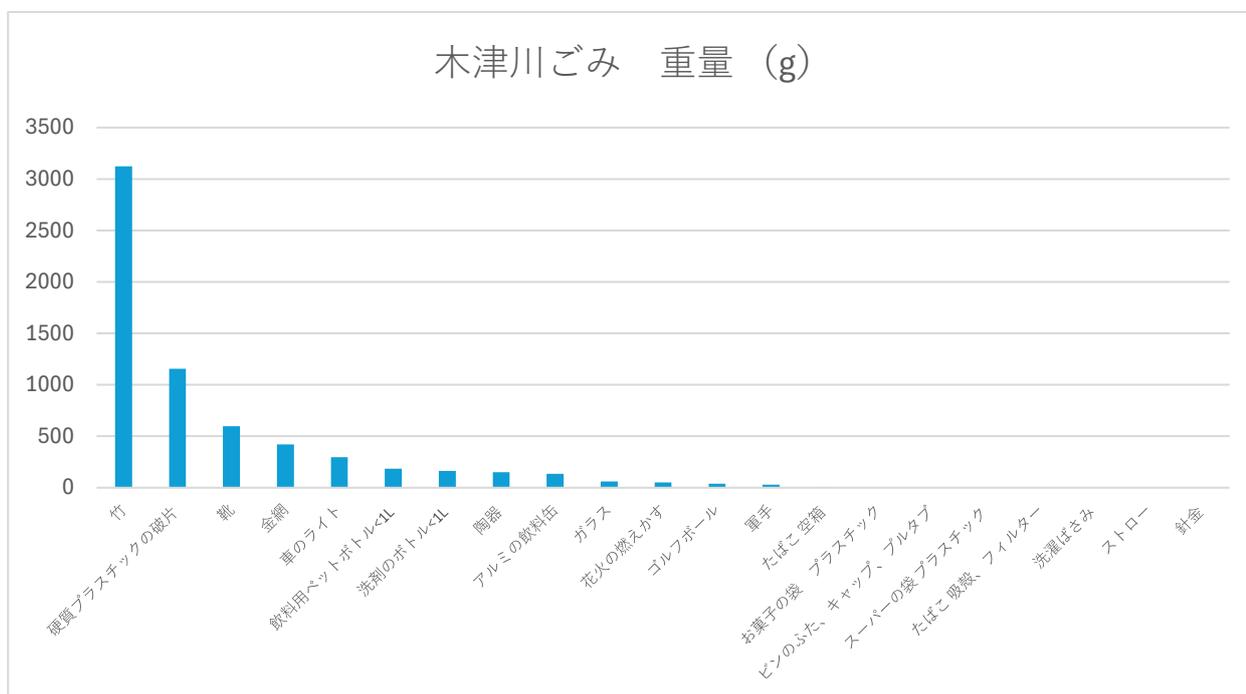
木津川ごみ数量 (個数)



木津川ごみ 重量

項目名	(g)
竹	3125
硬質プラスチックの破片	1156
靴	596
金網	420
車のライト	295
飲料用ペットボトル<1L	186
洗剤のボトル<1L	162
陶器	152
アルミの飲料缶	136
ガラス	61
花火の燃えかす	51
ゴルフボール	40
軍手	31
たばこ 空箱	7
お菓子の袋 プラスチック	6
ビンのふた、キャップ、プルタブ	5
スーパーの袋 プラスチック	4
たばこ 吸殻、フィルター	3
洗濯ばさみ	2
ストロー	1
針金	1
合計	6440

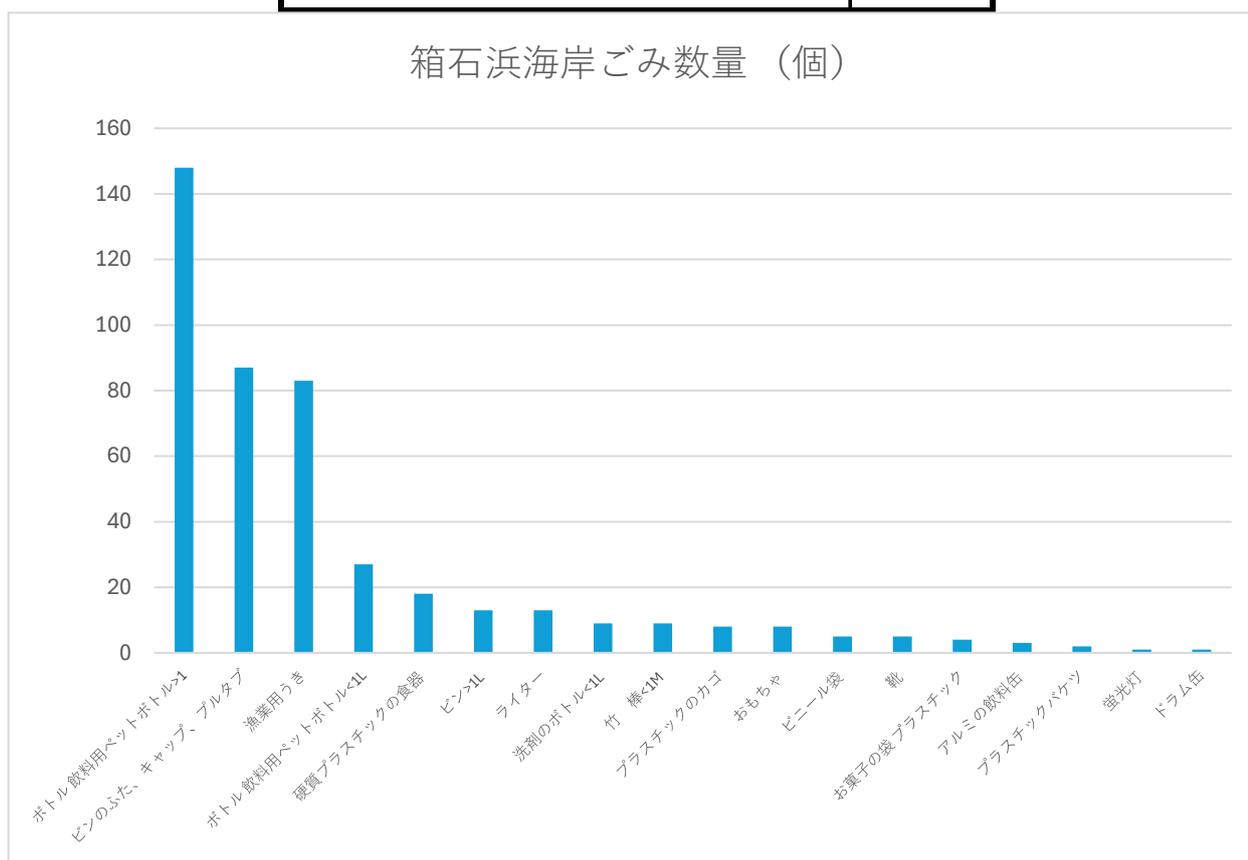
木津川ごみ 重量 (g)



箱石浜海岸ごみ 数量

項目名	(個)
ボトル 飲料用ペットボトル>1	148
ビンのふた、キャップ、プルタブ	87
漁業用うき	83
ボトル 飲料用ペットボトル<1L	27
硬質プラスチックの食器	18
ビン>1L	13
ライター	13
洗剤のボトル<1L	9
竹 棒<1M	9
プラスチックのカゴ	8
おもちゃ	8
ビニール袋	5
靴	5
お菓子の袋 プラスチック	4
アルミの飲料缶	3
プラスチックバケツ	2
蛍光灯	1
ドラム缶	1
合計	444

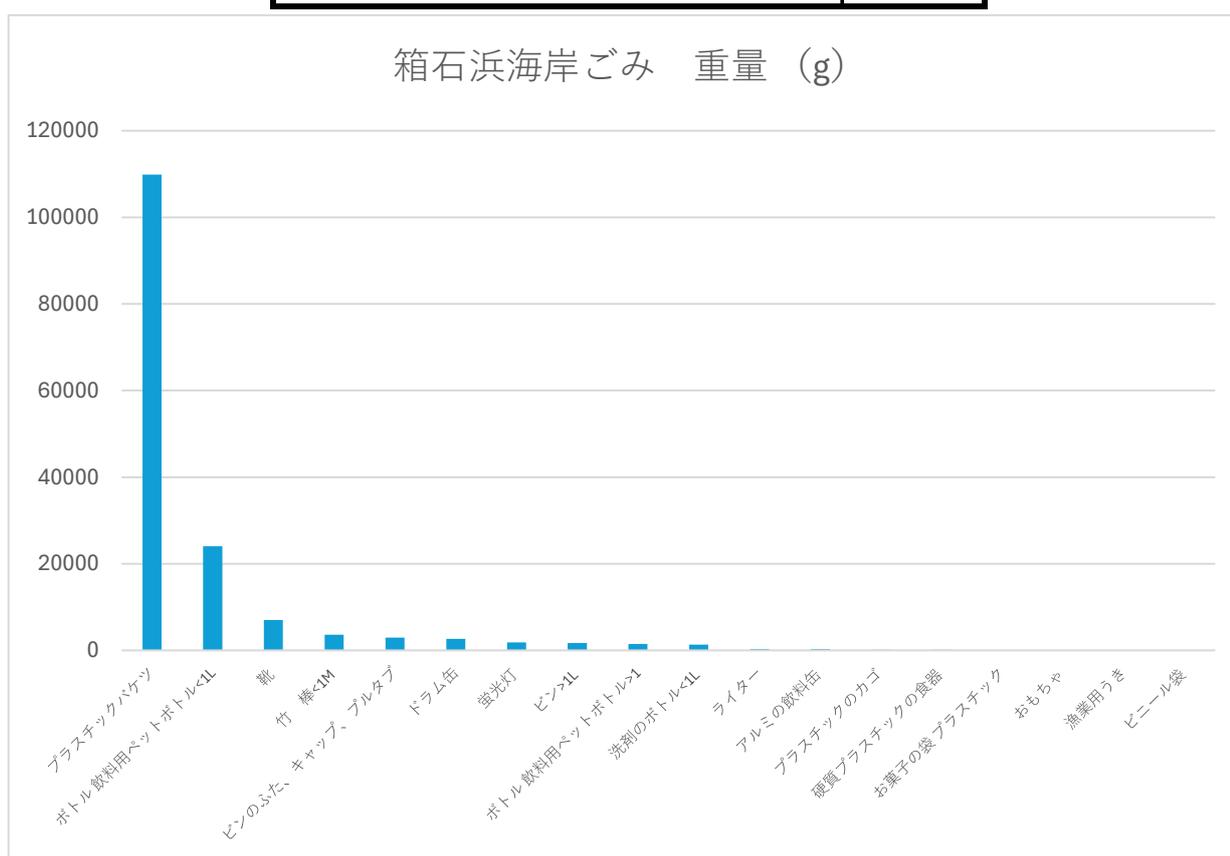
箱石浜海岸ごみ数量 (個)



箱石浜海岸ごみ 重量

項目名	(g)
プラスチックバケツ	109886
ボトル 飲料用ペットボトル<1L	24025
靴	6994
竹 棒<1M	3638
ビンのふた、キャップ、プルタブ	2963
ドラム缶	2652
蛍光灯	1826
ビン>1L	1682
ボトル 飲料用ペットボトル>1	1485
洗剤のボトル<1L	1318
ライター	332
アルミの飲料缶	262
プラスチックのカゴ	163
硬質プラスチックの食器	153
お菓子の袋 プラスチック	78
おもちゃ	21
漁業用うき	13
ビニール袋	5
合計	157496

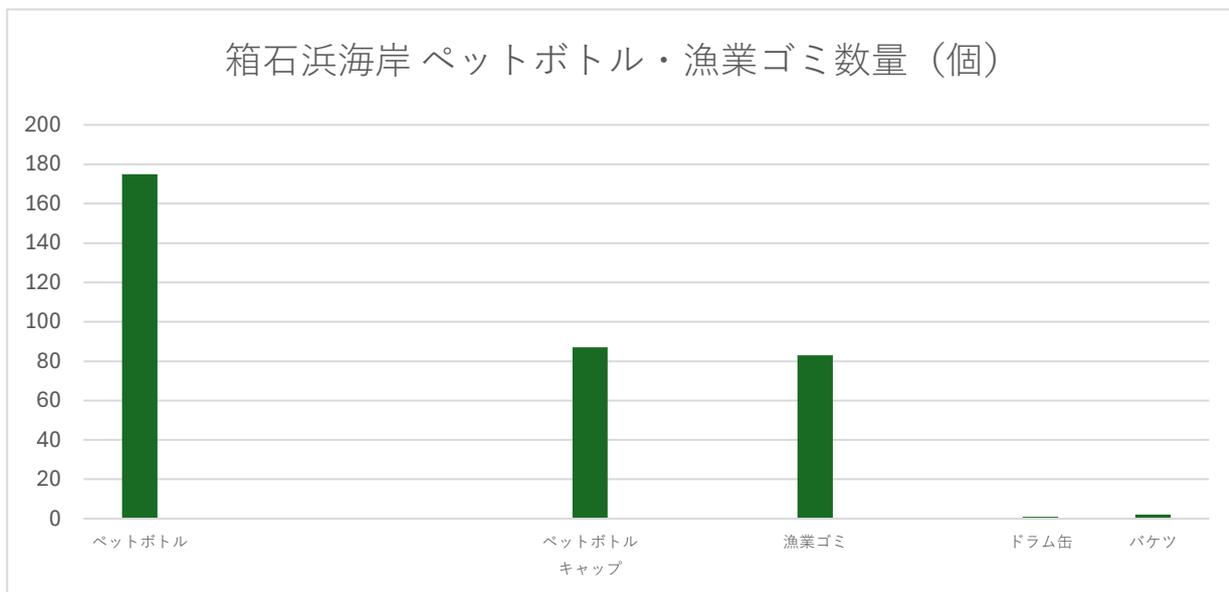
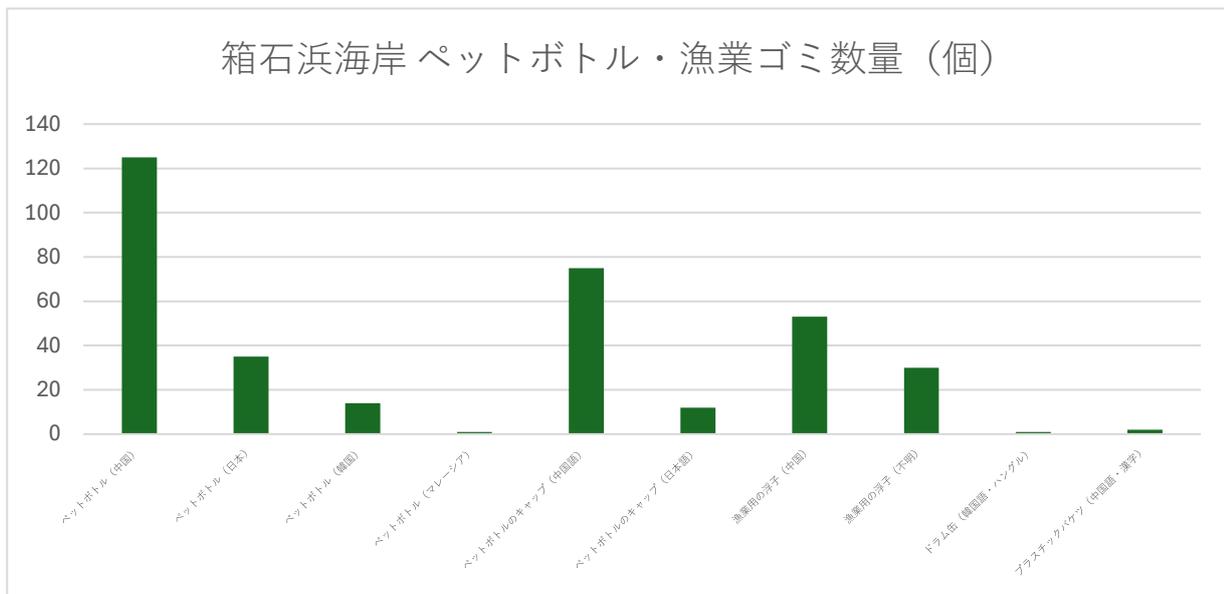
箱石浜海岸ごみ 重量 (g)



箱石浜海岸 ペットボトル・漁業ゴミ数量

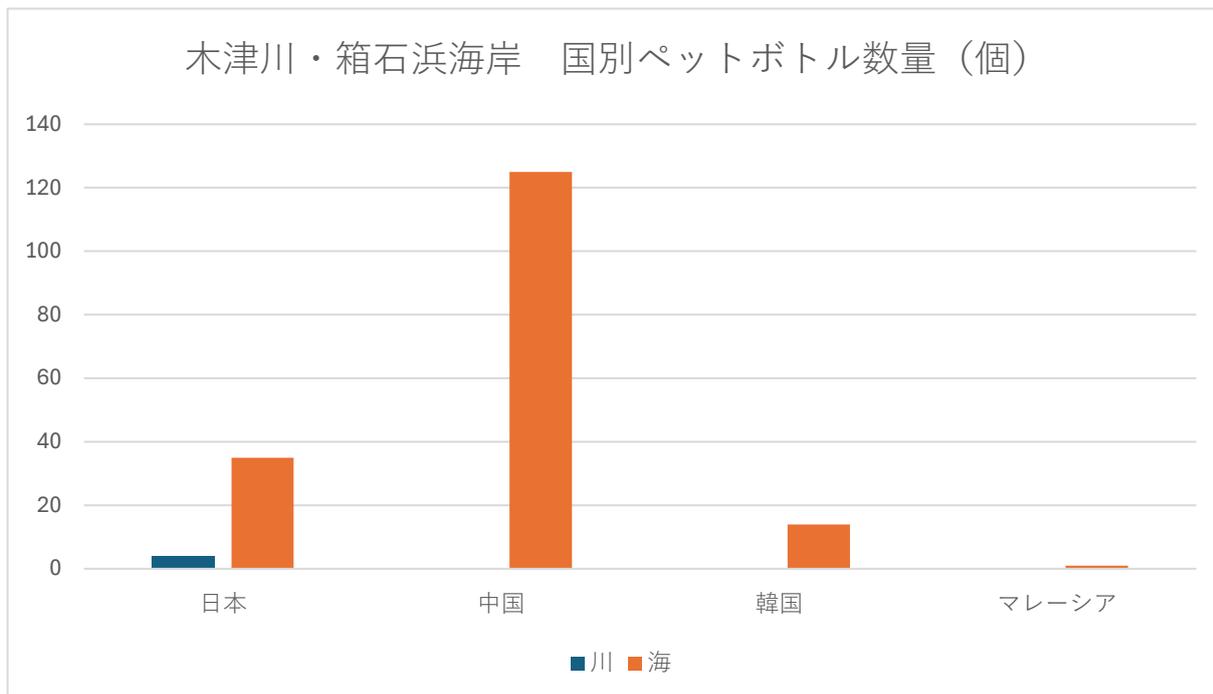
項目名	(個)
ペットボトル (中国)	125
ペットボトル (日本)	35
ペットボトル (韓国)	14
ペットボトル (マレーシア)	1
ペットボトルのキャップ (中国語)	75
ペットボトルのキャップ (日本語)	12
漁業用の浮子 (中国)	53
漁業用の浮子 (不明)	30
ドラム缶 (韓国語・ハンゲル)	1
プラスチックバケツ (中国語・漢字)	2
合計	348

項目名	(個)
ペットボトル	175
ペットボトルキャップ	87
漁業ゴミ	83
ドラム缶	1
バケツ	2
合計	348



木津川・箱石浜海岸 国別ペットボトル数量（個）

ペットボトル	日本	中国	韓国	マレーシア
川	4	0	0	0
海	35	125	14	1



【木津川と箱石浜海岸での調査から分かったこと】

木津川と箱石浜海岸でゴミ調査を行った結果、ゴミの種類や背景が大きく違うことが分かった。

まず木津川では、ペットボトル・空き缶・レジ袋・弁当容器など、地域の日常生活から出た生活ゴミが多く見られた。

これは、ポイ捨てや管理不足など、地域の生活行動が川のごみに直接つながっていることを示している。

一方、箱石浜海岸では状況が大きく異なり、海外表記のペットボトル・洗剤ボトルなどの海外から漂着した生活ゴミに加えて、ロープや網などの海外由来の漁業ゴミが多く見つかった。

さらに、海岸のごみには日本の川から流れて到達した国内の生活ゴミも混ざっている。

つまり、箱石浜の海ゴミは

※日本の川から流れてきた生活ゴミ

※海外から海流で運ばれた生活ゴミ

※海外の漁業ゴミ

上記、3つが重なって漂着しているという特徴がある。このことから、川のごみは地域の生活行動の影響が大きく、

海のごみは国内外の生活ゴミ+海外の漁業ゴミが混ざり合う複雑な問題であることが明確になった。

また、これらの生活ゴミや漁業ゴミは時間とともに細かく砕け、マイクロプラスチックとなって生態系に影響を与える。

そのため、単にごみを拾うだけでは解決できず、生活ゴミを出さない行動や、観光客・地域に分かりやすく伝える

仕組みづくりが必要だと強く感じた。

今回の比較調査を通して、「身近な生活ゴミが川から海へ流れ込み、海外のごみとも混ざる」という環境のつながりを実感できた。

この気づきは、地域から始める環境活動の重要性をさらに深く理解する大きな学びとなった。

OMOIYARI JAPAN 活動記録



京都市 ごみ箱



京都市 ごみ箱



京都市 ごみ箱



京都市 ごみ箱



京都市 ごみ箱



京都市 ごみ箱

OMOIYARI JAPAN 活動記録



京都市 ごみ箱



京都市 ごみ箱



京都市 ごみ箱



京都市 ごみ箱



京都市 ごみ箱



京都市 ごみ箱

OMOIYARI JAPAN 活動記録



伏見稲荷駅 ごみの放置



伏見稲荷駅 ごみの放置



路上 ごみの放置



鴨川 清掃活動



鴨川 清掃活動



鴨川 清掃活動

OMOIYARI JAPAN 活動記録



木津川 清掃活動・ごみ調査



木津川 清掃活動・ごみ調査



木津川 清掃活動・ごみ調査



木津川 清掃活動・ごみ調査



木津川 清掃活動・ごみ調査



木津川 清掃活動・ごみ調査

OMOIYARI JAPAN 活動記録



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査

OMOIYARI JAPAN 活動記録



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査

OMOIYARI JAPAN 活動記録



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査



箱石浜海岸 清掃活動・ごみ調査

OMOIYARI JAPAN 活動記録



清掃活動・活動報告・イベント



清掃活動・活動報告・イベント



清掃活動・活動報告・イベント



清掃活動・活動報告・イベント



清掃活動・活動報告・イベント



清掃活動・活動報告・イベント

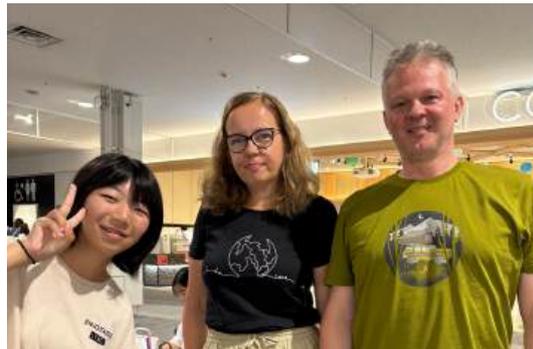
OMOIYARI JAPAN 活動記録



伏見稲荷大社
マナー啓発・アンケート調査



伏見稲荷大社
マナー啓発・アンケート調査



関西国際空港
マナー啓発・アンケート調査



京都東山区
地域住民聞き取り調査



日韓環境教育シンポジウム
参加・意見交換



日韓環境教育シンポジウム
参加・意見交換

OMOIYARI JAPAN 活動記録



わんさかフェスタ
おもいやりカード配布



わんさかフェスタ
おもいやりカード配布



わんさかフェスタ
おもいやりカード配布



わんさかフェスタ
おもいやりカード配布



わんさかフェスタ
おもいやりカード配布



わんさかフェスタ
おもいやりカード配布